

令和5年度 南房総市介護保険事業運営協議会第2回会議 議事要旨	
日 時	令和5年11月8日(水) 18:32~19:45
場 所	三芳農村環境改善センター 2階 大会議室
出席者	<p>【委員】 安室和宏委員、神作紀史委員、岡山貢一委員、鈴木隆志委員、青木和詳委員、加瀬浩一委員、嶋田颯委員、田中かつら委員、半澤和昌委員、間宮俊一委員、渡邊淳子委員</p> <p>【事務局等】 保健福祉部 相川部長 高齢者支援課 小林課長、目良課長補佐、星野係長(介護保険係) 山口保健師長兼係長(高齢者福祉係)、高梨副主査、渡辺主事 健康推進課 小野課長、在原課長補佐</p> <p>株式会社ぎょうせい 中井研究員</p>
欠席者	高梨節子委員
開催形態	公開
内 容	<p>1 報告</p> <p>(1) 報告第1号 指定地域密着型サービス事業所等の指定状況について</p> <p>(2) 報告第2号 平成6年度からの地域包括支援センターについて</p> <p>(3) 報告第3号 南房総市地域包括支援センター運営協議会と南房総市介護保険事業運営協議会の統合について</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 議案第1号 第10期高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画について</p> <p>3 その他</p>
報告等	<p>1 報告</p> <p>(1) 報告第1号 指定地域密着型サービス事業所等の指定状況について (事務局) 「指定地域密着型サービス事業所等の指定状況について」を説明。 － 質疑・応答なし －</p> <p>(2) 報告第2号 令和6年度からの地域包括支援センターについて (事務局) 「令和6年度からの地域包括支援センターについて」を説明。 － 質疑・応答なし －</p> <p>(3) 報告第3号 南房総市地域包括支援センター運営協議会と南房総市介護保険事業運営協議会の統合について (事務局) 「南房総市地域包括支援センター運営協議会と南房総市介護保険事業</p>

運営協議会の統合について」を説明。

－ 質疑・応答なし －

2 議事

(1) 議案第1号 第10期高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画について

(事務局)「第10期高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画について」を説明。

○加瀬副会長

計画の47ページに先程触れていたんですけども、4-3としてデジタルデバインド対策という表現があるんですが、ちょっと私これ良く分からない部分がありまして、いきなりこういう言葉が出て来たんですけども、何かもうちょっと違う表現の方が良いのかなと言うふうに思いました。例えば中に文章がありますので、わかるんですけども、対策というのがちょっと違和感がありました。例えば4-2のところと言えば促進であったり、5-1であればここも促進を使っているし、その前も促進だし、はたしてここは対策という言葉で良いのかなというふうに感じた次第です。デジタル社会への対応であったり、そちらの方が馴染むのかなというふうに感じました。以上です。

○事務局

ご指摘ありがとうございます。デジタルデバインドという言葉、聞き馴染みがないというご指摘だと思いますので、なるべく平易な言葉でわかりやすいように使っていきたいと思っておりますので、ご提案のありました促進という言葉、また高齢者のデジタル化の支援という言葉であるとか、そういった言い換えをさせていただければというふうに思います。ありがとうございます。

○神作会長

他に何かございますでしょうか。

○間宮委員

先程の資料の市内施設の利用状況について、ちょっとわかりにくかったので、教えていただきたいんですけども、例えば特養のところは市内利用者が61で市外が36ということは、施設に空きがあって市外の人に入ってもらっているというようなことなんでしょうか。その意味を教えていただきたいと思っております。もう1つは感想なんですけども、地域包括の方と介護保険事業の会議が一緒になるということで、ケアマネの人が保険のことを理解したり、保険の人が形だけでなく現場を理解したり出来るので、凄く良いことだと思います。それで外部の相談に応じる人が厚労省の発表したニュースによれば、主任ケアマネだけではなくて、

要件が緩和されるというニュースが出てますけども、それと合わせて相談体制が拡充されるということで凄く良いことだと思います。これは感想です。以上です。

○事務局

施設の利用状況について回答の方をさせていただきます。特別養護老人ホームにつきましては、広域型ということになりまして、地域密着型のサービスになりますと市内のかたが優先という形になるんですけども、広域型のサービスにつきましては、市内のかたが優先ということではなくてですね、介護度ですとかそのかたの優先順位ですとか、そういったことで特に市内の方が優先されるという施設ではありませんので、こちらの率について市外の方が36%ということも順番でしたり、市内の方が優先という施設ではないということになります。以上です。

○間宮委員

今のご説明だと例えばAという市は得をするけど、Bという市は施設を作るだけで少し損をするというような不公平もありうるような感じがしますが、どうやって公平を保つのでしょうか。

○事務局

では、お答えいたします。まず広域型施設ということですので、例えば南房総市の立地ですと、安房郡市内というような形でそれぞれ特別養護老人ホームが例えば整備されています。そこで、その市内の人を優先するということではなく、例えば先ほどもご説明いたしましたけども、その施設において入所基準等を定められておまして、その中で相対でと言うか、その地域でそれぞれ館山市の施設であれば広域的に南房総市の方も受け入れたりとかっていうことで、相互に広域的に受け入れますので、そういった中で平等性が保たれているというような認識でおります。このような回答でよろしいでしょうか。

○間宮委員

そういうことで、介護度とかそういうことで結果的に損得がないように分配されているという、そういう理解でよろしいでしょうか。感じとしてわかりました。

○事務局

そのようなかたちになっております。よろしく願いいたします。

○神作会長

他に御質問はございますでしょうか。

○安室委員

確認も込めてお伺いしたいんですが、54ページ、防災対策の充実というところで、さっき説明をしていただいた件なんですが、防災対策の充実のところの6行目ですかね、日頃から計画的に避難行動を行うための「個別避難計画」の取組を進めますということを先程説明をしていただきましたが、この個別避難計画というのは、災害対策基本法に載っている市町村努力義務になっている個別避難計画ということですか。

○事務局

安室委員のおっしゃるとおりで、令和3年度に改正になりました、災害対策基本法で市町村の努力義務になりました、個別避難計画の事を指しております。

○安室委員

ありがとうございます。その取組を進めますと書いてありますが、これはどういう意味でしょうか。

○事務局

実際に避難行動要支援者名簿に登録されている方で、まずはハザードマップにご自宅がかかっている方から優先的に1件ずつといたしますか、避難計画を立てていく予定でおります。実際、今のところ何件か進めております。

○安室委員

これは市の方で個別避難計画を立てる、介護保険事業で立てるということで、市の防災計画上で自主防災組織とかそういうところが個別避難計画を立てていくという意味ではないんですね。

○事務局

なにぶん、対象者が非常に多いので、今後自主防災組織の方ですとか、他の民生委員・児童委員さんですとか、そういった方々にご協力いただいて、いろいろな団体でいろいろな場所で皆さんで個別避難計画の方を作成していきたいというのが市の方の希望ではあるんですけども、まずはやれるところからということで、こちらの高齢者支援課でも取り組んで行くという形で記載させていただいております。

○安室委員

長くなってすみません。市の防災計画上は個別避難計画を策定する方向というか、そういうのは示されているんですか。って言うのは、私はすみません、行政連絡員・区長をやっているんですが、行政連絡員会議の中で個別避難計画、避難支援者の名簿をいただいたりなんかして、地域で助け合っていきたいということ提示されているんですけども、その会議の中で市の方から事務局さんの方

からは努力義務になっている個別避難計画、これについては積極的に作成していない、というふうに向っているんですが、その辺の整合は取れているんでしょうかね。というのは、先程おっしゃったように個別避難計画を作成するには相当な大変なものがあって、対象者関係する人も多いし、いろんなことを体制も作っていないといけない、そうすると、行政区なんか自主防災組織扱いはされてるっていうのはおかしいか、扱いになっているんですが、対応出来ていくような行政区ってのは少ないですね、自主防災組織を作っている行政区、行政区内で自主防災組織を作っているところもあるんですが、まだ数は少ない、組織だって地域がなっていない中で、こういう個別避難計画を作っていくましようねって言われても実際まだ対応出来ない事が出て来るので、この取組を進めますって言っちゃっていいのかなっていう、個別避難計画を作っちゃダメって言ってんじゃないですよ、ちょっと先走っちゃってんじゃないかなっていう感じがあるんで、これ3カ年ですね、3カ年の中で取組をどこまでするのって話になっちゃうとちょっと酷な話になるんじゃないかなって思うんで、その辺は区内ですら再度検討していただいて、全体的な歩調を合わせていただけると良いかなというふうに思いますので、ここだけが先走っちゃって行っちゃっても困るかなと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○神作会長

他に何かございますでしょうか。御質問はありますでしょうか。

○嶋田委員

福祉の嶋田ですけど、41ページの認知症のことについてなんですが、南房総市の認知症患者の傾向っていうのがどんな具合になっているかと、もう1つが下の方にいってオレンジチームの拠点を整備するというところで、令和6年度からというようなことになっているようですけど、拠点というのはどこにどんなふうに作られるんですか。その2点を伺います。

○事務局

高齢者福祉係の山口と申します。認知症の患者さんの傾向ということなんですが、さまざまな方がいらっしゃるかと思うんですけども、最近、基幹型包括支援センターで支援している中で大変困っているケースというのは、認知症があっても、困っているというか支援がなかなか難しいケースとしては、生活自体は皆さんどうにか出来ているんだけど、かなり物忘れが酷くて保険証を何度も発行するとか、そういったかたちで何かしらの見守りが必要なんだけどなかなか使えるサービスがない、周りの方の見守りが必要な方が多くなっているというようなケースへの対応がかなり多くなって来ております。また、ご本人の特徴としましては、歩けたり活動が出来る方が多くて軽度の認知症の方だったり、あと、特徴というのか何ていうのかわからないんですけど、支える方がちょっと少ない、

市だけではないかと思うんですけども、市全体としてというか全国的かもしれないんですけども、核家族化が進んでいる関係もあってか支える人が少ないという状況があったりします。すいません、十分な回答でなくて申し訳ございません。

また、チームオレンジにつきましては、今年度認知症カフェを開催しているところが市内に2か所ありまして、そちらにチームオレンジのサポーターのチームオレンジをするためのステップアップ研修というものをそちらの方に開催していただきまして、そちらの方にチームオレンジというかたちを推進していこうかなというふうに考えております。

○嶋田委員

それは私的な施設、拠点ということですか。公じゃなくて。

○事務局

現在、丸山地区におかげさまカフェとおたがいさまカフェという認知症カフェの方がありまして、社会福祉協議会の方のサロンの方でも支援をしていただいているんですけども、住民のボランティアのカフェというかたち、団体ということになります。

○嶋田委員

1番のことなんですけど、人数は、南房総市の人数がわかったら教えていただきたい。わかる範囲で、その増えて来た傾向とか。

○事務局

すみません、ちょっとデータの方がちょっと持ち合わせてございません。

○株式会社ぎょうせい 中井研究員

株式会社ぎょうせいの中井と申します。素案の27ページをすいませんお開きください。今回の数字は素案には記載が出来ていなくて、今後記載予定になっている第5節高齢者人口・要介護認定者数の推計の中に認知症高齢者数の推計結果を記載する予定です。認知症高齢者数の推計は要支援・要介護認定者の中でいわゆる認知症の度合いというか程度が2以上というレベルがありまして、2以上の方の人数を基に今後どれくらい増加していくかという推計を今後行います。ですので、委員の御質問のありました現在認定を受けられている方の中で認知症の度合いが軽度の方がこれくらいいらっしゃる、重度の方がこれくらいいらっしゃるというデータを次回以降お示し出来ますし、今後どれくらい増加していくかという数字もこの第5節に記載する予定ですので、申し訳ありませんが、次回以降数字の方を提示させていただければと思います。以上です。

○神作会長

よろしいでしょうか。

そうでしたら、また次の質問何かございますでしょうか。ある方は挙手をお願いします。

○渡邊委員

渡邊と申します。ここに書かれていることが本当になったら凄いなっていうふうに思って資料をいただいた時から読んだんですけども、高齢者が増えていてもこれから生産人口っていうのがどんどん減っていく中で、施設もさっき特養は、特別養護老人ホームは人が足りなくてクローズしているところがあるっていうお話も聞いた中でこれだけ施設の職員さんとかじゃなくても、地域住民もいっぱい協力をしていかないと成り立たないよっていうようなことが書かれているのかなっていう印象を凄く持っているんですが、その辺はどうやって人を発掘していったり、ご協力いただいたりしていくっていうことを考えていらっしゃるのかを教えてくださいたいです。

○事務局

ありがとうございます。そうですね、生産年齢人口、まさに減っていくことは目に見えていて、現状すでに介護人材が足りないと言われていた中で、計画にも記載させていただきましたとおり、ボランティアさんの力、それから新たな介護人材の確保というところが市の課題になっているところです。地域住民の方の協力をしていただくための仕掛けというところが御質問の趣旨だとは思いますが、なかなか難しいところも多いものと考えております。今、社会福祉協議会さんを中心にボランティアさんのコーディネート組織化等を進めていただいているところだと思います。一方でボランティアさんの従事する方の年齢というところで考えるとボランティアさん自身が高齢化してきているということもあろうかと思えます。その上で市が出来ることとしては、例えばですね、有償のボランティアさんの有償でお支払いする謝礼の部分等を市としても例えば介護保険の制度を使って少し支援をさせていただいて、またスキルアップの部分についても支援をさせていただくということで、有償ボランティアから就労に近い、就労的活動と呼ばれるところにステップアップをさせていくことで、一つモチベーションを保ったり、あるいは新しい層を発掘するきっかけになればというふうに考えておりました、その1つが先程56ページでお示しさせていただきました、介護予防・生活支援サービス事業という制度がありまして、こちらの住民主体サービスというところがあります。こちらの方がですねより軽度者の人に対して住民主体のボランティアさんがサービスを展開する際に、その活動にかかる経費等に対して支援をさせていただくことが出来たりですね、あるいは例えばケアマネジメントしていく中でケアマネさんがもっと住民の地域での見守りとか地域で通いの場に通わせてあげたいとか思うときに、こういった制度がきっかけに軽度者の人をより地域で見守り体制を作っていくことが出来るというような仕掛けにも繋がるのかなと

ということで検討している次第でございます。ご回答には到底足りないものとは思いますが、現状このように検討しております。

○岡山委員

今、渡辺さんの方から話がありましたけれども、僕もやっぱりそういう組織が必要かなと思うんですが、認知症カフェつむぎはもう8年目に入ったんですね、やたら元気なんです皆、作っている人達が、休まないんです。どうしてそういうエネルギーが出るのかなと思うんですけど、もう80近いのに皆本当に元気なんです、僕が振り回されるぐらい、やっと70代になったんですけども、思います。

この間、僕が区長さんから安否確認をして欲しいという依頼があって、市の方で多分、皆で動いたんだと思いますが、安否確認をした時に僕は班長なんで、僕が班の人達を回ったんですが、その時に分かっていないことがいっぱいあることがいっぱい分かったんですね。だから、これは多分安否確認をするということ市の方で推進していく、区長を通じて皆にわかってもらう、そういうことをちょっとしてもらえたら嬉しいなというふうに思います。安否確認がいろんな細かいことに通じていくんじゃないかなと思います。よろしくお願いします。

○神作会長

はい、ありがとうございます。そうしまして、間宮委員何かございますか。

○間宮委員

先程の件についての一般的な見方ということで、例えば日経新聞なんかに出ていたというようなことで言うと、ロボットの導入とか風呂に入れる機械とかそういうのがありますね、支援機器とか年を取ったヘルパーさんがインプットしなくても例えば測っただけでそれが帳簿になるというような支援機器とか、夜中の見回りを自動的にベッドの下に入れた機械がやってくれるとか、そういうことでやるとか、給料アップするというだけでも先程の計画の中にもありましたけども、教育をして出来るだけ早く昇格してもらって、安い賃金のところは外人に任せるとか、この近くにも外人の教育施設が出来たし、そういう介護福祉士とかそういうのになる教育、申し込めば赤門でやってくれるとか、そういうことも出来て来たようですし、新聞で読んでる訳ですけど、そういう一般的な流れというのがあるって、あながち、あながちじゃない、市はシステムを作る訳ですけど、施設の方でも私の立場は若い頃はベンチャーの支援を多くやってたんですけど、施設の側での努力っていうのも先程のような大きな面があると、労働者の方でももっと勉強して早く給料を上げようという努力が必要だというようなことがあると思います。以上です。

○神作会長

ありがとうございます。

	<p>他に何か御質問がある方いらっしゃいますか。</p> <p>以上で議事を終了いたします。</p>
資料	<p>報告第1号資料「指定地域密着型サービス事業所等の指定状況について」</p> <p>報告第2号資料「令和6年度からの地域包括支援センターについて」</p> <p>報告第3号資料「南房総市地域包括支援センター運営協議会と南房総市介護保険事業運営協議会の統合について」</p> <p>議案第1号資料「第10期高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画について」</p>